

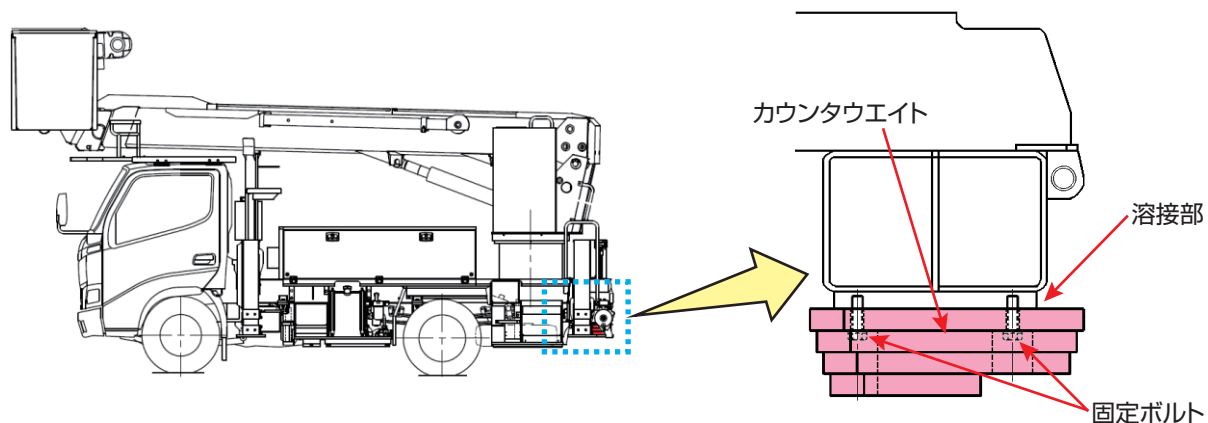
カウンタウエイト固定部の点検について

車両後部に固定したカウンタウエイトを走行時に誤って縁石や路面などに衝突した場合、カウンタウエイト固定部が損傷（固定ボルトの緩み・損傷、溶接部の亀裂、サポート等の損傷）することがあります。損傷した状態で使用を続けると、カウンタウエイトが脱落するなど、重大な事故に繋がるおそれがあり大変危険です。

衝突や接触等が生じた際は、直ちに、カウンタウエイト固定部の状態を点検し、異常が見つかったときは速やかに修理を行ってください。

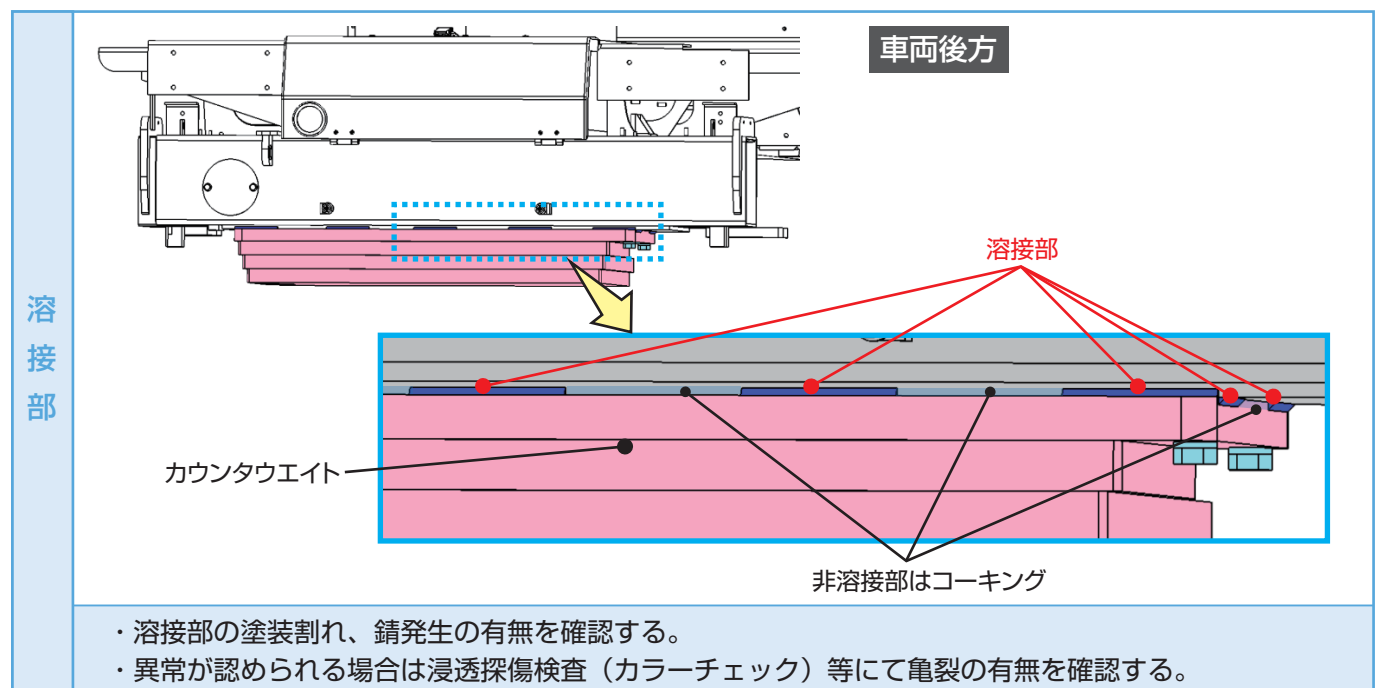
また、定期点検（月例・年次等）において、カウンタウエイト固定部の点検を行ってください。異常が見つかったときはタダノ指定サービス工場にて修理を行ってください。

■カウンタウエイト取付け部（代表例）

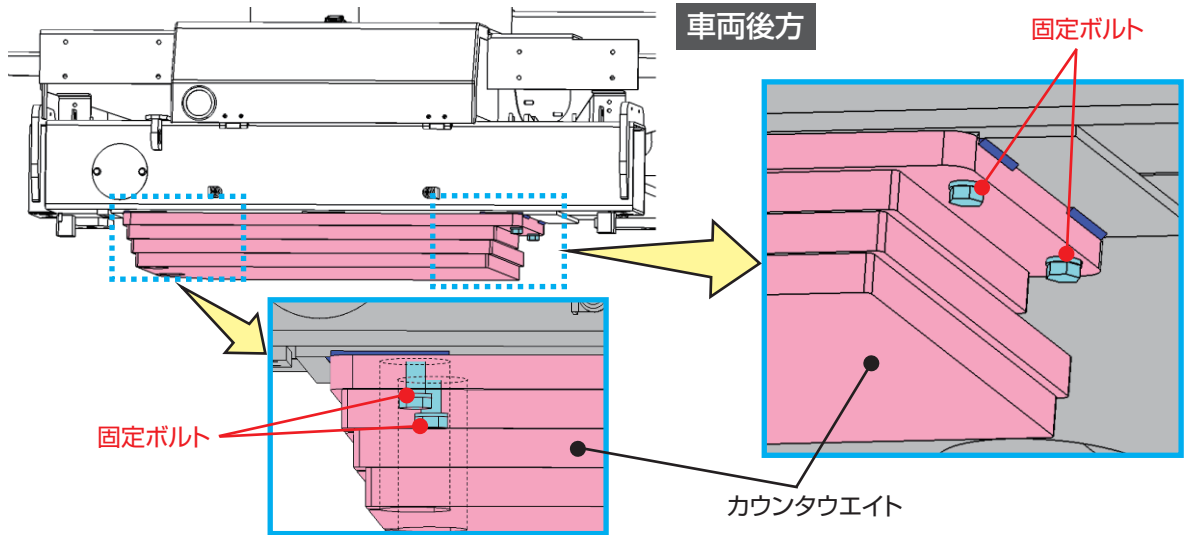


■カウンタウエイト固定部と点検（溶接部・固定ボルト・サポート・ピン）

※機種により固定方法は異なります。

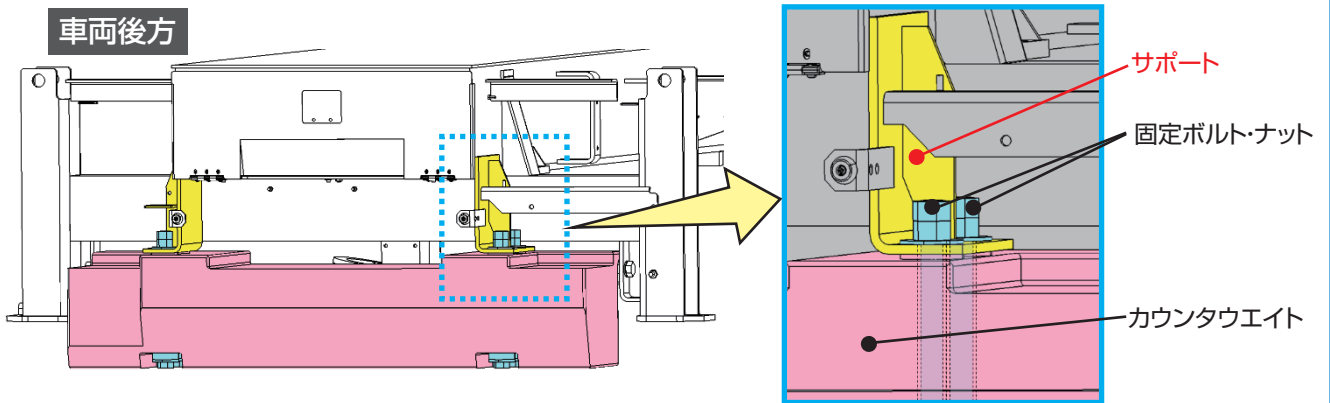


固定ボルト



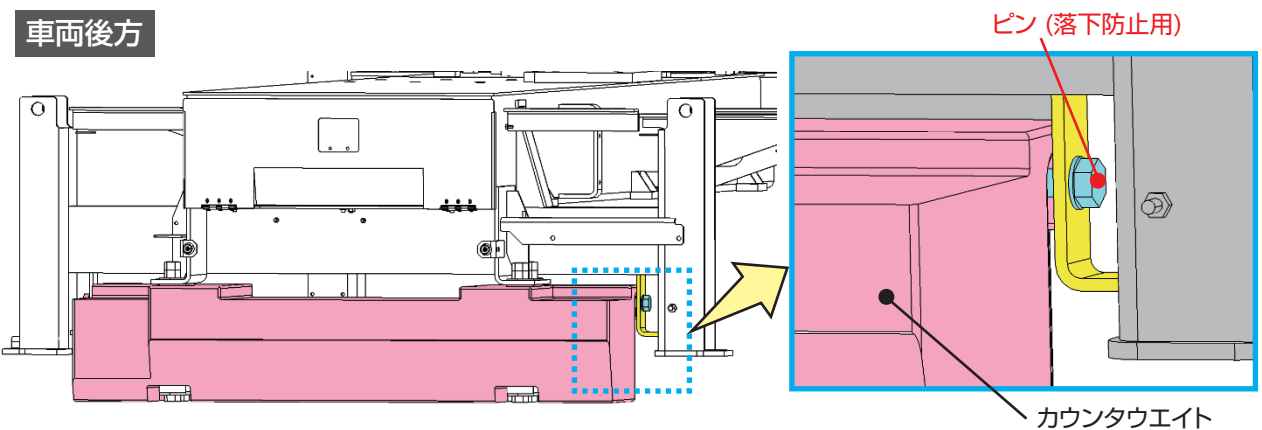
- ・固定ボルト（ナット）の取付け状態（緩み、脱落等）を確認する。
- ・固定ボルトの腐食や損傷の有無を確認する。
- ・固定ボルトに異常が認められた場合は、ネジ山の状態を確認し、ボルト（ナット）は新品に交換する。

サポート



- ・サポートの取付け状態、損傷や変形の有無を確認する。
- ・塗装割れ、錆等の異常が認められる場合は浸透探傷検査（カラーチェック）等にて亀裂の有無を確認する。

ピン（落下防止用）



- ・落下防止用ピンの取付け状態（緩み、損傷、脱落等）を確認する。
- ・ピン部に異常が認められた場合は、交換・修正等の修理をする。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成